



鶏 けいめい 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない』

聖書(マルコ福音書13章31節)

牧師 河合裕志

イエスってずいぶんとデカイことを言う人。これは豪語じゃない？自信ありげに大きなことを偉そうに言っている。世の中には時にそんな人、いるよね。

でもイエスに関してはこれはあながち根も葉もないことを言ったものではないかも。だってイエスの言葉はこの2千年の間、滅びていないから。これを見越してこう言ったのでは？

新横浜教会の建っている地は以前には齋藤虎松さん経営の養鶏場。この地を教会を建てるためにポンと寄付。(今は「愛鶏園」農場は埼玉と茨城両県で展開)この虎松さんが業界誌にこんな文章を書いていた。

「普通のベストセラー本は、正直10年もたてば殆ど省みられなくなる中に、聖書ときたら2千年の歳月に耐え、凡ゆる思想にもまれ、しかも今日まで残った万年ベストセラー。そして今後も何千年もベストセラーをつづけることでしょ。それは生命ある本だからで、その意味では仏典、論語、コーラン等の古典も千年以上の歴史に耐え、何億の人の心に灯をともし人類最大の遺産であります」(『倅せの青い鳥は鶏だった』より)

確かに聖書とはそういう本。そしてその中に載っているイエスの言葉は滅びないものを持っている。それはその一語一語にイ

エスの命というものが宿っていることによるのだろう。文字通り命がけの言葉。間もなく死を覚悟している者の遺言の言葉。だから力がこもっている。いつの時代に生きる人々にもインパクト、影響を与えてやまない。

それにしても『わたしの言葉は決して滅びない』とはよく言ったもの。これは当時聞く人が聞けば、それは自分を神とするものとうつつたろう。～あなたは過ぎ行く人間でしょう。なんでそんな人間にわが言葉は不滅だと口にすることができる。あなたは神と肩を並べようとするボートクの罪を犯している。

確かにこの言葉もイエス攻撃の有力な材料になりそう。イエスは神の子、人間となった神と見ている者には問題ないのだけれど。そうは見えない人にも、イエスの言葉に初めて接する人にも、なんかその言葉は気になる、印象に残る、そういうものでは？

パウロは言う。「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい」(コロサイ書3章16節)。イエスの言葉を内にたくわえる程に、その言葉と共に今を生きるイエスがわが内に、あなたの内に宿ってくる。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時
子どもの教会：日曜日午前9時
求道者会：日曜日午前9時40分
中高青年会：日曜日礼拝後
お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時
お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時